

庄川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

庄川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】国管理区間における庄川左岸中流部及び左右岸下流部において、急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対する堤防の安全を確保し、射水市、砺波市を守る急流河川対策を完成させる。

併せて、立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組、洪水ハザードマップの配布、マイ・タイムラインの作成及び支援、要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援などを実施する。

【中長期】国管理区間における庄川左岸中流部において、急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対する堤防の安全を確保し、高岡市を守る急流河川対策を完成させる。利賀ダムの整備を完成させるとともに、合流点処理及び庄川右岸下流部において堤防整備を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の強大なエネルギーに対する急流河川対策(護岸)	富山河川国道事務所		
	流下能力不足解消のための堤防整備、支川への影響を低減させるための合流点処理利賀ダムの整備	富山河川国道事務所 利賀ダム工事事務所		
	流下能力不足解消のための堤防整備、河道拡幅、河道掘削、護岸整備	富山県、岐阜県		
	砂防関係施設の整備	富山県、岐阜県		
	森林整備、治山対策	富山及び飛騨森林管理署、富山及び岐阜水源林整備事務所、富山県、岐阜県		
	農業用排水路、洪水調整池等の整備	富山県		
	雨水貯留施設の整備、下水道等の排水施設の整備	高岡市、射水市		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	富山市、高岡市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など	
	多段階な浸水リスク情報の充実	富山河川国道事務所		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップの作成・配布 洪水等リスクの現地表示、水位計・監視カメラの活用	富山河川国道事務所、富山県、岐阜県、富山市、高岡市、高山市		
	マイ・タイムラインの作成及び普及 要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び普及 避難訓練への住民参加、防災教育(出前講座の活用)	富山河川国道事務所、富山県、岐阜県、富山市、高岡市、射水市、砺波市、白川村、高山市		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	富山河川国道事務所、富山県、岐阜県		
	自然豊かな森林づくり	富山及び飛騨森林管理署、富山及び岐阜水源林整備事務所、富山県、岐阜県		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	市町村等		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

【事業規模】

■河川対策

全体事業費 約1,392億円

■下水道対策

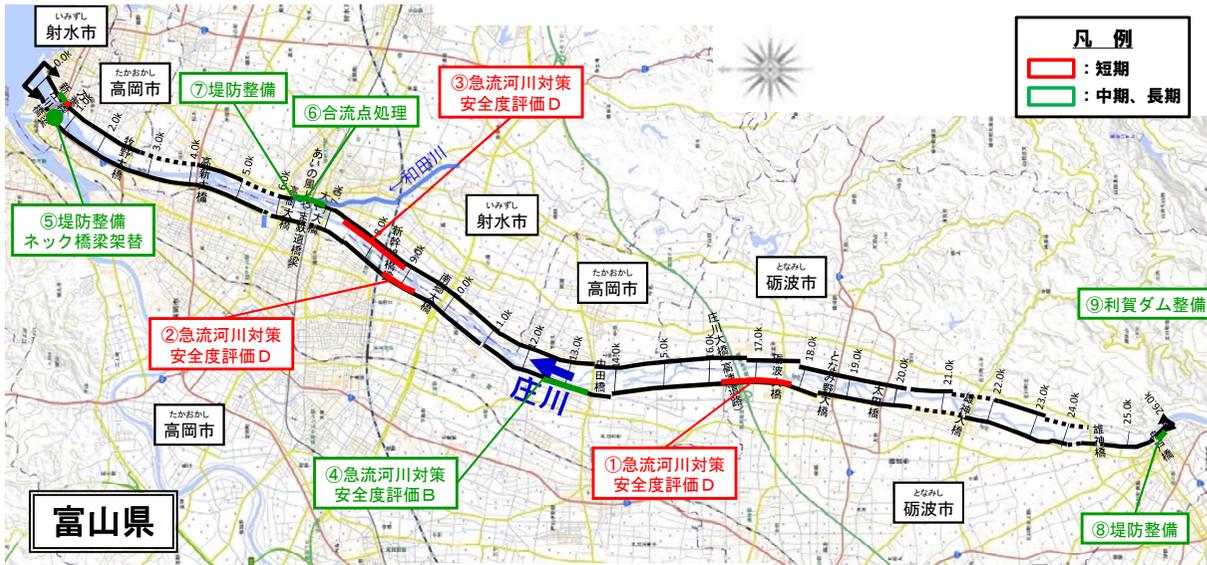
全体事業費 約9億円

庄川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

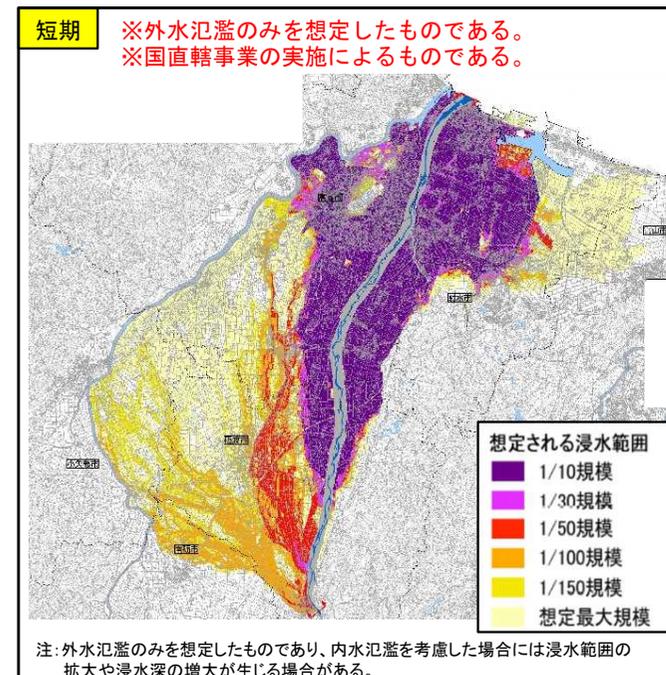
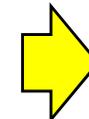
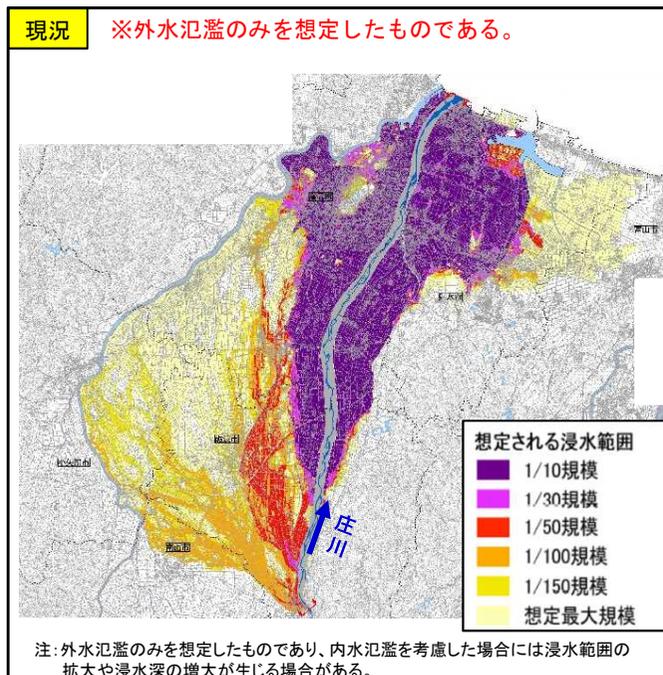
太田地区、上高岡地区、大門地区の急流河川対策が完了することで、堤防の侵食決壊による浸水被害を低減することが可能

短期整備(5か年加速化対策)効果：
 河川整備率 約93.8%→約93.8%
 質的整備率 約46.9%→約52.3%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程		
					短期 (R3~R7)	中期 (R8~R13)	長期 (R14~R19)
ぐ、氾濫をできるだけための対策	急流河川対策D		砺波市(太田)	①	100%		
			高岡市(上高岡)	②	100%		
			射水市(大門)	③	100%		
	急流河川対策B 浸水リスク大	高岡市(戸出)	④		60%	100%	
	堤防整備 ネット橋梁架替	射水市(下高岡・新湊)	⑤	1%		100%	
	合流点処理	射水市(大門)	⑥			100%	
	堤防整備	射水市(大島)	⑦			100%	
	堤防整備	砺波市(庄川)	⑧			100%	
	利賀ダム整備	南砺市(利賀村押場)	⑨		100%		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



庄川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）



整備率：93.8%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



5市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



24施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策



治山対策等の実施箇所 14箇所

（令和4年度実施分）

砂防関係施設の整備数 0施設

（令和4年度完成分）

※施行中 1施設

立地適正化計画における防災指針の作成



0市町村

（令和4年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 2河川

（令和4年9月末時点）

※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定区域 2団体

（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画 洪水 1125施設

土砂 230施設

（令和4年9月末時点）

個別避難計画 8市町村

（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

〔農業用排水路、洪水調整池等の整備（富山県農村整備課）〕

事業実施前



水路から溢水し農地等湛水

事業実施後



水路の改修(大断面化)

狐島調整池(整備済)の例



調整池へ



洪水調整池への流入(下流域溢水被害の未然防止)

農業用排水路等の改修により、近年の都市化の進展等に伴う排水の流出形態の変化に起因する溢水被害を防止し、農地の保全、農業生産性の維持や農業経営の安定と併せて災害に強い農村づくりを推進。

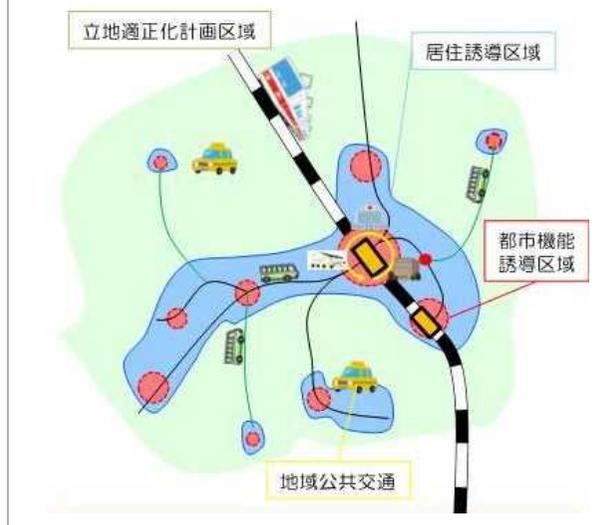
【事業概要】

・関係市町：高岡市、砺波市、小矢部市、南砺市

被害対象を減少させるための対策

〔立地適正化計画における防災指針策定（高岡市）〕

〔イメージ〕



立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組

【防災指針策定の概要】

立地適正化計画においては、災害リスクを踏まえた課題を抽出し、都市の防災に関する機能の確保のため「防災指針」を定めるとともに、この方針に基づく具体的な取組を位置付ける。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

〔まるごとまちごとハザードマップ整備（高岡市）〕



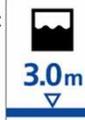
水防災教育出前講座



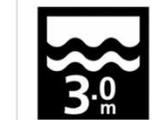
現地調査状況

浸水深標識の設置

実際の高さ



人の目線



想定浸水深

Flood Water Depth (Projected)

この場所は庄川が氾濫すると3.0m浸水する可能性があります

高岡市 / Takaoka City

日常時から住民の水防災への意識を高めるとともに、発災時には住民の主体的な避難行動を促すため、住民や電柱管理者等と協力し、住民が目にしやすい場所にある電柱や指定緊急避難場所に浸水深の標識を設置。

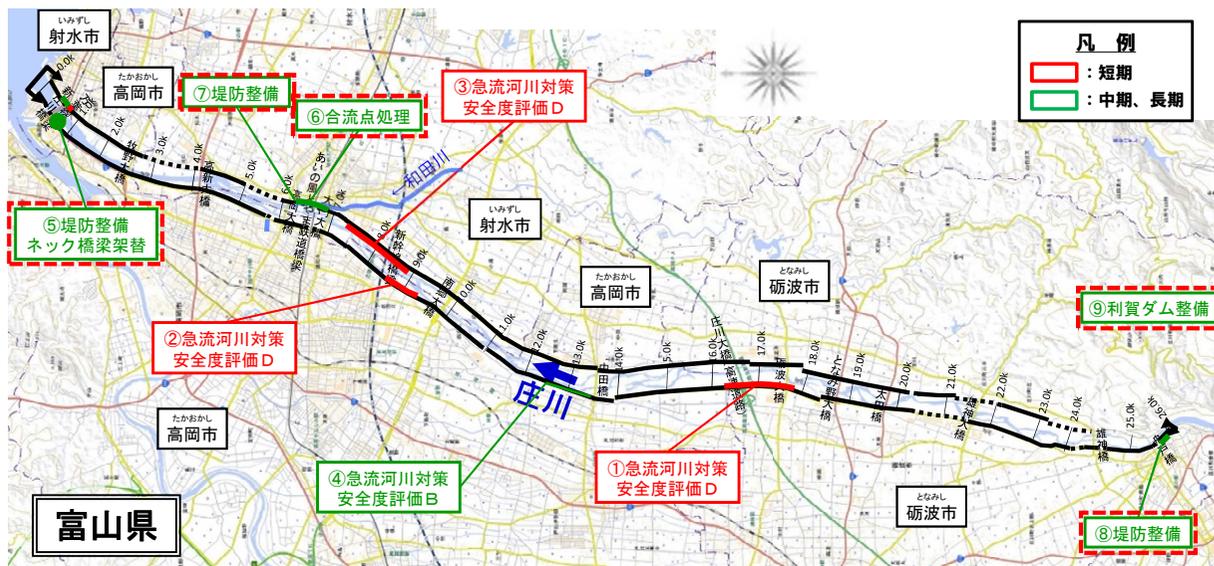
庄川水系流域治水プロジェクト【参考資料 量的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

※ 量的整備とは、洪水時に河川の水を安全に流すため、堤防の嵩上げや河床を掘削するなどの整備である。

【量的整備】利賀ダム整備及び下高岡・新湊地区の堤防整備(ネック橋梁架替)の推進

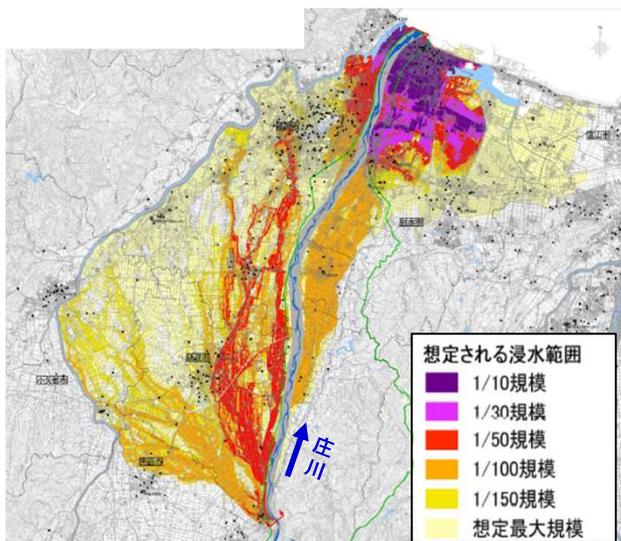
短期整備(5か年加速化対策)効果：
河川整備率 約93.8%→約93.8%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程		
					短期 (R3~R7)	中期 (R8~R13)	長期 (R14~R19)
ぐ、氾濫をできるだけの対策	急流河川対策D		砺波市(太田)	①	100%		
			高岡市(上高岡)	②	100%		
			射水市(大門)	③	100%		
	急流河川対策B 浸水リスク大	高岡市(戸出)	④		60%	100%	
	堤防整備 ネック橋梁架替	射水市(下高岡・新湊)	⑤	10%	関係機関協議	100%	
	合流点処理	射水市(大門)	⑥			100%	
	堤防整備	射水市(大島)	⑦			100%	
		砺波市(庄川)	⑧			100%	
	利賀ダム整備	南砺市(利賀村押場)	⑨		100%		

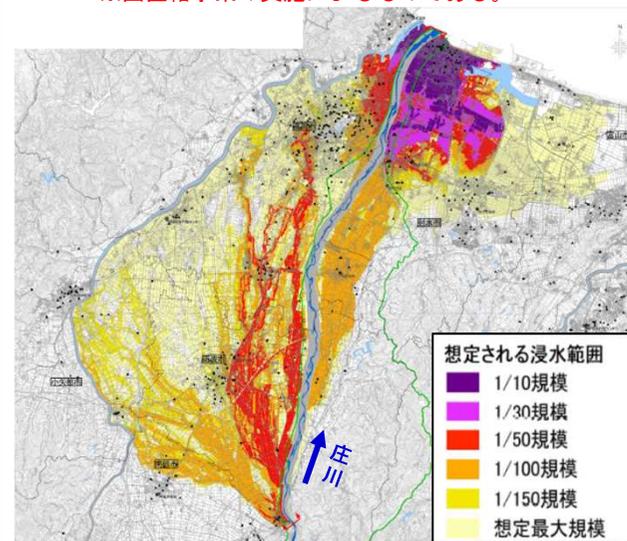
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

現況 ※外水氾濫（流下能力のみ計算した結果）のみを想定したものである。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

短期 ※外水氾濫（流下能力のみ計算した結果）のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

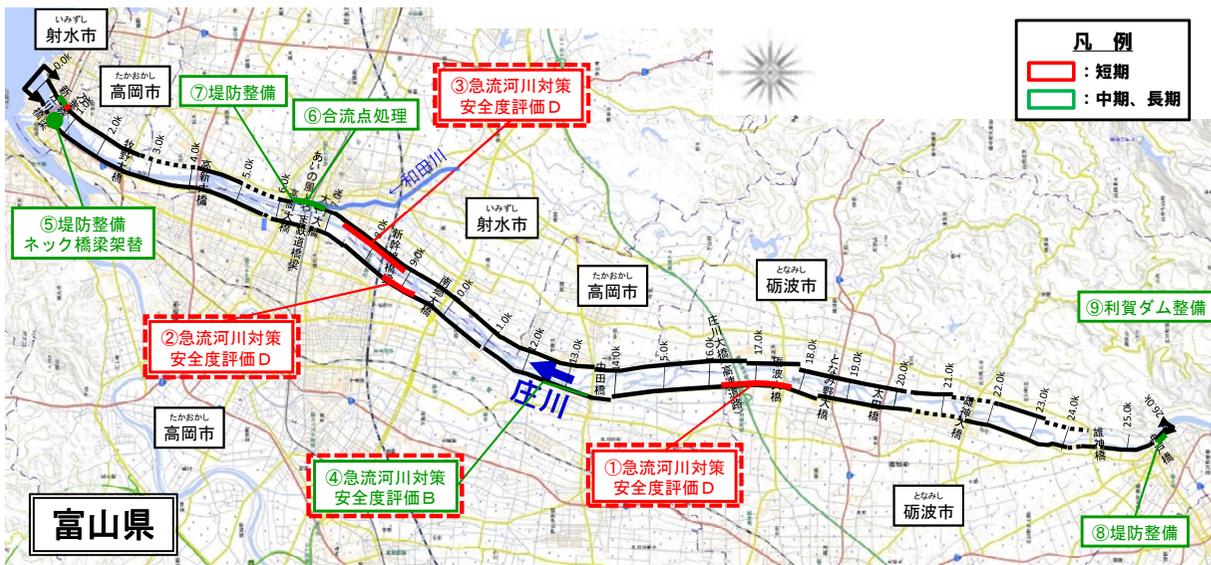
庄川水系流域治水プロジェクト【参考資料 質的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川における堤防安全度向上と流域治水対策の推進～

※ 質的整備とは、浸透や侵食から堤防を守るため、堤防自身を強化するための整備のことである。

短期整備(5か年加速化対策)効果：
質的整備率 約46.9%→約52.3%

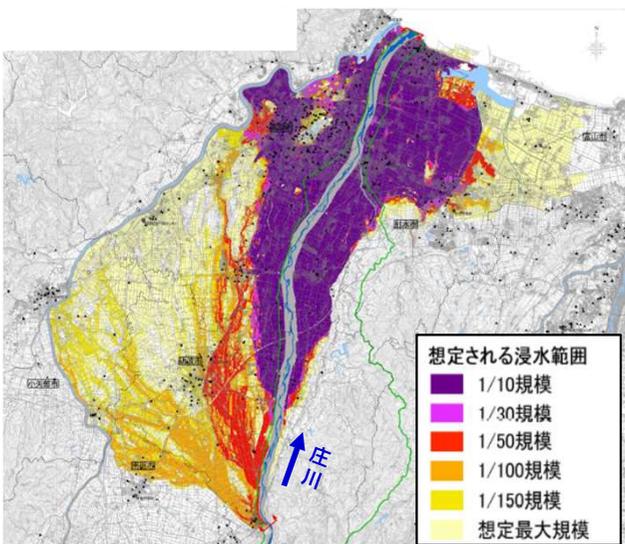
【質的整備】太田地区、上高岡地区、大門地区の急流河川対策が完了することで、堤防の侵食決壊による浸水被害を低減することが可能



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工程		
					短期 (R3~R7)	中期 (R8~R13)	長期 (R14~R19)
庄川 ぐ、氾濫をできるだけの対策	急流河川対策D	堤防整備	砺波市(太田)	①	100%		
			高岡市(上高岡)	②	100%		
			射水市(大門)	③	100%		
	急流河川対策B 浸水リスク大	高岡市(戸出)	④		60%	100%	
	堤防整備 ネック橋架替	射水市(下高岡・新湊)	⑤	関係機関協議		100%	
	合流点処理	射水市(大門)	⑥			100%	
	堤防整備	射水市(大島)	⑦			100%	
		砺波市(庄川)	⑧			100%	
	利賀ダム整備	南砺市(利賀村押場)	⑨		100%		

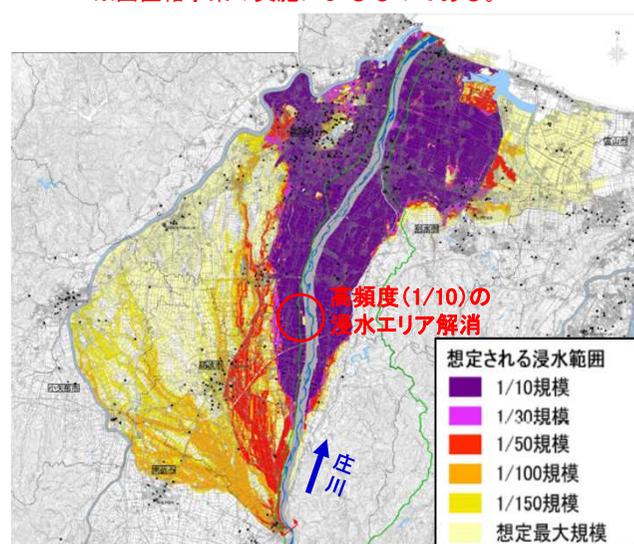
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

現況 ※外水氾濫（浸透や侵食リスクのみ考慮した計算結果）のみを想定したものである。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

短期 ※外水氾濫（浸透や侵食リスクのみ考慮した計算結果）のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

